

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、軟調な米経済指標を受けてドル安で推移する時間帯も見られたが、週末14日にブリュッセルで実施されたギリシャと債権者との交渉が決裂したことも影響し、引けにかけてはリスク回避が進行。レアル相場は取引開始直後と同水準の3.12台後半で取引を終えた。公表された6月ニューヨーク連銀製造業指数は1.98減と市場予想を大きく下回った他、5月鉱工業生産指数も前月比0.2%減と不芳な結果に留まった。米国サイドでは、本日から開催されるFOMCに注目が集まっている。本会合での利上げ実施は見送られる公算であるが、5月雇用統計など前回会合以降の経済指標改善を踏まえると、会合後の記者会見でイエレン議長から利上げのタイミングに関してヒントを得られる可能性も指摘されている。内容次第ではドル買いレアル売りに傾くシナリオも想定されるため注意を要したい。また、不透明なギリシャ情勢もレアルの圧迫要因として作用する見込み。交渉が決裂したことで、ギリシャは最大72億ユーロの資金を得ることができる救済プログラムの失効期限まで残り2週間となる状況まで追い込まれている。デフォルト回避とユーロ圏残留の鍵となる焦点は、18日開催のユーロ圏財務相会合に移っている。

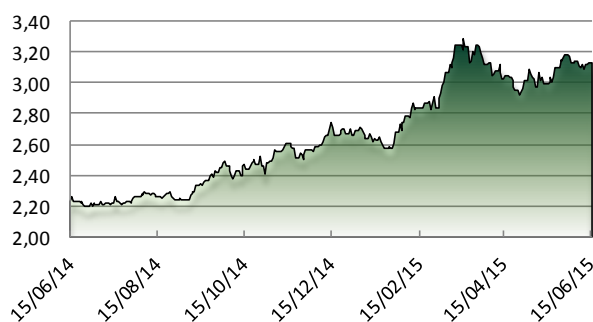
ブラジル中銀が公表した週次サーベイによると、年末の成長率見通しが1.35%減と4週連続で下方修正された他、インフレ率(IPCA)見通しも、5月IPCAの結果(前年比8.47%)を受けて9週連続の引き上げとなる8.79%まで大幅に修正された。レアル相場については3.20と、安定した水準での予想値がここ最近続いているが、今後のイベントを踏まえると見通しに変化が出る可能性もあるため警戒したい。

マーケットデータ

Indicator	Unit	6月12日	6月15日	前日比	5月15日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,55	39,47	-0,08	39,82	-0,35
USD / BRL Spot	BRL	3,1197	3,1269	+0,0072	2,9969	+0,1300
USD / JPY Spot	JPY	123,39	123,42	+0,03	119,25	+4,17
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.348	53.138	-210	57.249	-4.111
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	243,9	247,2	+3,3	230,4	+16,8
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,61	12,78	+0,17	12,45	+0,33
DI Future Jul16 (金利先物)	%	14,27	14,33	+0,06	13,75	+0,58
3 Months US Dollar Libor	%	0,286	0,286	+0,000	0,277	+0,009
CRB Index (国際商品指数)	Index	223,5	222,5	-1,0	231,5	-9,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

